



※一般質問の内容は議員自身が6月定例会議事録に基づき記述しています。

QRコードを読み取り、令和3年6月定例会を選択すると視聴できます。

6月定例会時に在籍していた議員の一般質問を掲載しています。



もちづき のりお  
**望月 則男**  
(富岳会)

## 災害時の水源や避難場所などの電源について

**問** 災害時に水源や避難所等の発電機の燃料の手配はできているのか伺う。

**部長** 市内のガソリンスタンドに個別に注文するが、災害時には、「災害時等における燃料の供給協力に関する協定」に基づき、静岡県石油業協同組合富士宮支部への応援協力を求めることになる。

**意見** ガソリンスタンドも高齢化、後継者不足、人員不足ということで、何か起きたときに配達ができる、できないということを事前に知っておけるかどうかということも大きなポイントかと思う。通常取引として、備蓄用の燃料も常時使用してもらっているガソリンスタンドであれば、困っているときに、頑張ろうというような意識になると思う。ただ、それが困った

ときだけお願いしますということだと、話は変わってくると感じる。たった一つのエネルギー源だけではなく、複合的なガスなど様々なエネルギーをツールとして持っておくということが重要なポイントではないかと強く感じる。

**問** ゼロカーボンシティを宣言したことにより、非常用の発電設備等のエネルギーを軽油や重油等以外とする選択肢はあるか。

**市長** ゼロカーボンシティを宣言してエネルギー革命を担っていくと思う。市の公共施設のエネルギー源の問題は、社会の状況、技術革新と一緒に並行して取り組んでいかなければならない重大な問題だと認識している。

**問** 業者の数が大幅に減っていく中で、この8年間、協定を改定する機会や見直すというような動きはあったか伺う。

**部長** 見直す機会はなかったが、今後は状況に応じて内容、体制を、事業者、それから石油、ガソリンスタンドやエネルギー供給業者と連携して協力体制を築いていきたい。



さいとう かずふみ  
**齋藤 和文**  
(公明会)

## 富士山5合目レストハウスの今後について

**問** 5合目レストハウスの現状と県への要望について。

**部長** 令和3年3月に思いもよらない火災事故に見舞われ、その機能が消失してしまった。現在は避難場所や休憩場所がないため、仮設トイレを4～11月まで5基、7～9月までさらに5基、設置予定である。レストハウスについては、火災以前より老朽化とビジター機能がないという理由で、平成29年に県知事に、県において施設整備の要望を行った経緯があり、検討に入っていた矢先の火災事故となった。早急な施設整備とレストハウスが使用できない中での来訪者等の一層の安全確保、施設の建設費や維持運営費の確保について4月に県へ要望した。

**問** 施設整備のためにクラウドファンディン

グ\*を利用し資金を集めることについて。

**部長** 財源を補足する財源的な面、多くの人に事業内容を周知する、関心を持ってもらう点では非常に有効な手段であると考えている。

※クラウドファンディングとは、多くの方がネットを通じて資金提供し、プロジェクトのために資金調達を行うこと。

## 「ゆるキャン△」の当市での活用について

**問** 「ゆるキャン△」が当市に及ぼした影響について。

**部長** 「ゆるキャン△」で出てきたジェラートの売り上げがコロナ禍以前の2倍に、モデル地では焼きそば店の行列、アニメに登場した西富士宮駅、浅間大社周辺等、縁のある土地を実際に訪れる「聖地巡礼」を行うファンが増加している。経済効果は大きいと実感している。今後は民間事業者等と連携しながら、広がりや活性化に努めていきたいと考えている。

**問** 「聖地巡礼」の方向性について。

**部長** 企画や広報の職員とともに研究し、民間の力を活用しながら勉強していく。